取扱説明書

デジタルボイスレコーダー

品番 ICR-B34

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは“いつでも見られる所”に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は“保証書付”になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	ICR-B34
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話（　）　－

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

もくじ

はじめに

基本操作

応用操作

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⊘「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体

分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災、感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますので音量は徐々に上げるようご注意ください。

極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災、感電の原因となることがあります。温度が5℃以下、または35℃以上の場所では使用しないでください。

本体

置き場所に注意

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

電磁波の強い場所では使用しない

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。

クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

スピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープは本体のそばに置かないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

乾電池

乾電池は正しく入れる

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

注意

長時間入れたままにしない

禁止

長期間（1週間程度）使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。

ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因となることがあります。

使用しているときに乾電池を抜かない

禁止

本体を使用しているときには乾電池を抜かないでください。データが壊れたり、故障の原因となることがあります。

録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする

注意

消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。

2. 録音データを他の機器にバックアップしてください(33ページ)。

本機の使用中および落下や衝撃が原因での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

付属品の確認

デジタルボイスレコーダー本体 (1)

インナーイヤー型ヘッドホン (1)

外部マイク (1)

単4形アルカリ乾電池 (2)

基本操作ガイド (1)
本書（保証書付）(1)

各部のなまえ

詳しくは、(　)内のページをご覧ください。

内蔵マイク

(ヘッドホン)端子
（P12）

(外部マイク)端子
（P12）

クリップ

録音LED
（P18）

液晶パネル
（P10）

録音(○)ボタン
（P18）

再生/一時停止(▶)、
電源 入ボタン
（P20、P13）

停止(■)、電源 切ボタン
（P19、P13）

消去ボタン
（P25）

メニューボタン
（P28）

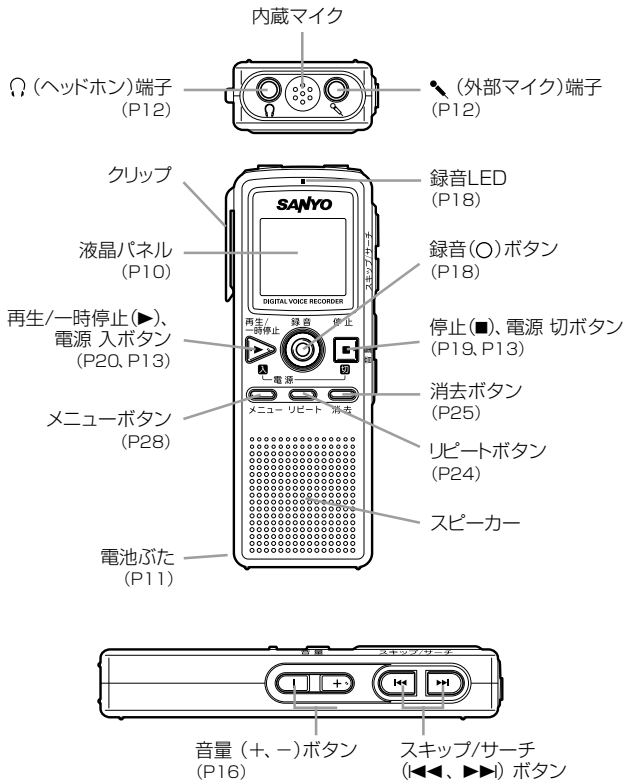
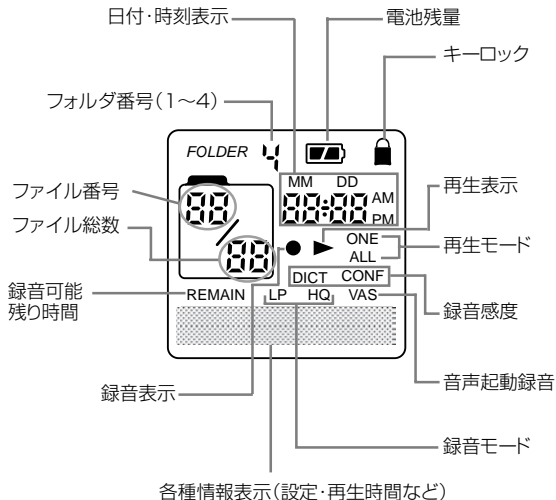
リピートボタン
（P24）

スピーカー

電池ぶた
（P11）

SANYO
DIGITAL VOICE RECORDER
再生/一時停止　録音　停止
入　電源　切
メニュー　リピート　消去
スキップ/サーチ

音量（+、−）ボタン
（P16）

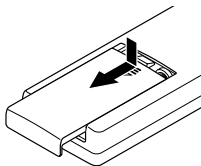
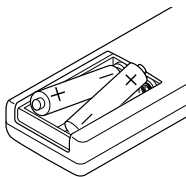
スキップ/サーチ
(I◀◀、▶▶I) ボタン

液晶パネル

すべての画面を一度に表示することはできません。

本書に例として示されている液晶パネル表示は、実際のものとは異なる場合があります。

お使いになる前に

乾電池の入れ方

1 電池ぶたを開ける

2 単4形乾電池を入れ、電池ぶたを閉める

極性(+、−)を間違わないように入れてください。

乾電池を入れると時計表示が点滅します。

時刻設定は15ページの「日時を設定する」をご覧ください。

ご注意

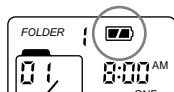
電源を入れた状態で乾電池の交換をしないでください。

電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。

▰▰： 良好

▰ ： 残量が少ない

▭▭（点滅）：電池切れ

電池切れのときは、すぐに新しい単4形アルカリ乾電池と交換してください。

ご注意

- 使いきった乾電池は各自治体の指示（条例）に従って処分してください。
- 操作中に乾電池を抜かないでください。録音内容が保存されない、または録音内容が壊れることがあります。
- 付属の乾電池はモニタ用ですので、寿命が短いことがあります。

ヘッドホンを使用する

ヘッドホンを 🎧（ヘッドホン）端子に差し込む

ヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。（本機はモノラル録音ですので、ステレオでは再生できません。）

外部マイクを使用する

外部マイクを 🎤（外部マイク）端子に差し込む

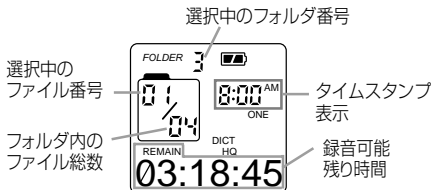
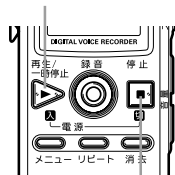
外部マイクを差し込むと、内蔵マイクは動作しません。

操作前の準備

電源を入れる/切る

[電源 入(▶)]ボタンを押す

電源が入ります。

[表示例:再生対象ファイルがある場合]

電源を入れると、[電源 入(▶)]ボタンは[再生/一時停止(▶)]ボタンとして機能します。

電源を切るときは、停止状態で[電源 切(■)]ボタン押す

時刻を設定している場合、時刻表示が点灯します。

動作状態では、[電源 切(■)]ボタンは[停止(■)]ボタンとして機能します。

タイムスタンプ機能

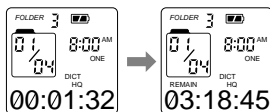
日時を設定(15ページ)しておくと、録音した日時が自動的に記録されます。

● 停止時→選択中ファイルの録音した時刻を表示。

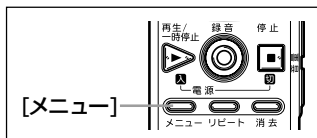
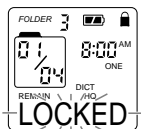
● 再生時→録音した日付を5秒間表示した後、録音した時刻を表示。

オートパワーオフ機能

停止状態で、約3分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。

電源を入れた直後や、ファイルやフォルダを切り換えた直後は、選択中ファイルの再生時間を5秒表示した後、録音可能残り時間を表示します。

キーロック機能

録音または再生中などに、誤ってボタンを押して動作を中断してしまうことを防ぎます。

[メニュー]ボタンを2秒以上押す

「LOCKED」（点滅）と 🔒マークが表示され、キーロックが機能します。
キーロック中に操作ボタンを押しても、「LOCKED」が点滅し、各ボタンは機能しません。

キーロック中に、[メニュー]ボタンを2秒以上押す

🔒マークが消え、キーロックが解除されます。

電源を切っているときでもキーロックの設定は可能です。

ご注意

電池がなくなった場合でも、キーロック状態は継続されます。乾電池を入れ替えた後、キーロックを解除してください。

日時を設定する

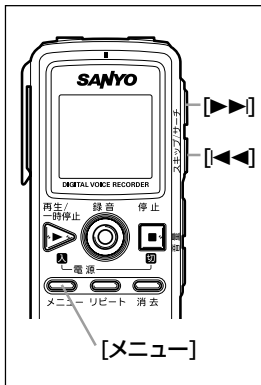
録音する前や[RESET]ボタンを押した(33ページ)時は、必ず日時を設定してください。

● 設定の途中で10秒以上何も操作をしないと、もとの画面に戻ります。

設定の流れ
年(西暦) → 月 → 日 → 12/24時間表示 → 時 → 分

1 **停止状態で[メニュー]ボタンを7度押す**

年設定「YEAR」画面を表示します。

(年 設定)

2 **[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押し、年を設定する**

3 **[メニュー]ボタンを押す**

月設定「MM/DD」画面を表示します。

(月 設定)
MM/DD

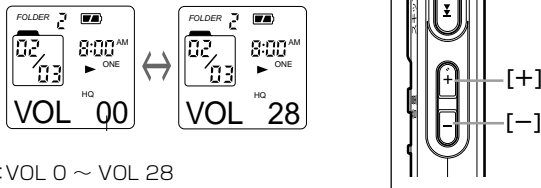
4 **2～3の操作を繰り返し、月→日→12/24時間表示→時→分を設定する**

分設定が終わると、もとの画面に戻ります。

12/24時間表示切り換え

「12 HOUR」:12時間表示　　「24 HOUR」:24時間表示

音量を調節する

再生または停止中に[音量]の[+]または[−]ボタンを押す

調節範囲:VOL 0 〜 VOL 28

[+]
[−]

ビープ音の有無を選ぶ

ボタンを押したときのビープ音の有無を選択できます。

BEEPON:ボタンを押すと、「ピッ」というビープ音が鳴ります。

BEEPOFF:ビープ音は鳴りません。

初期設定は「BEEPON」です。

ビープ音の選択方法→28〜29、31ページ

録音する

必ず事前に試し録音して正常に録音できることを確認してください。

録音モードと録音感度を選ぶ

録音モード

HQ(ハイクオリティ)モード:高音質で録音できます。

LP(ロング)モード:音質は多少落ちますが、長時間録音ができます。

初期設定は「HQ」です。

録音時間:

HQ:約4時間　　　　LP:約10時間45分

録音感度

DICT(対話):音源が近い場合の録音に向いています。音源の方へ本機を向けてください。

CONF(会議):小会議での録音に向いています。録音時の環境によって音声を拾える範囲は変わります。

初期設定は「DICT」です。

録音モード/録音感度の選択方法→28〜30ページ

フォルダを選ぶ

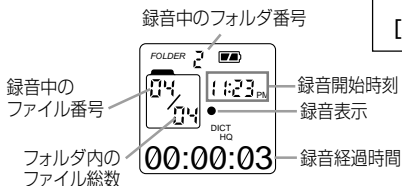
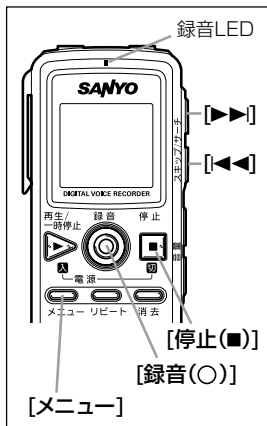
1 停止状態で[メニュー]ボタンを押す

2 10秒以内に[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押し、フォルダを選び、[停止(■)]ボタンを押す

録音を開始する

[録音(○)]ボタンを押す

録音LEDが点灯し、「●」を表示して録音が始まります。

[表示例]

録音を一時停止する

[録音(○)]ボタンを押す

「PAUSE」を表示します。
録音LEDが点滅します。

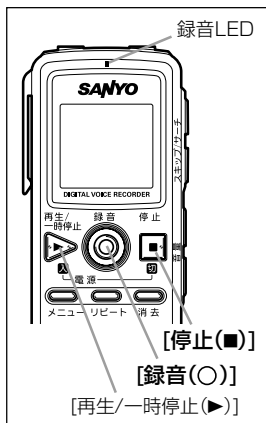
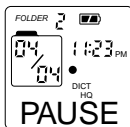
再度 [録音(○)]ボタンを押すと、録音を再開します。

録音を停止する

[停止(■)]ボタンを押す

録音LED

[停止(■)]

[録音(○)]

[再生/一時停止(▶)]

ご注意

- 録音はモノラル録音になります。
- 録音中に、[再生/一時停止(▶)]ボタンを押すと、押している間、録音可能残り時間を表示します。
  録音状態によって録音可能残り時間は表示と異なる場合があります。
- 1つのフォルダに対して、それぞれ99ファイルまで録音できます。全体で録音できるファイル総数は200です。
- 録音可能時間がなくなった場合や、フォルダのファイル数が99になるか、ファイル総数が200になった場合は、それ以降を録音しようとすると「FULL」を表示して録音できなくなります。その時は空いているフォルダに切り換えるか、不要なファイルを消去してください。

VAS(音声起動録音)について

VASとは、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると録音が自動的に一時停止するという機能です。
初期設定は「VAS OFF」です。

VASの選択方法→28〜30ページ

再生する

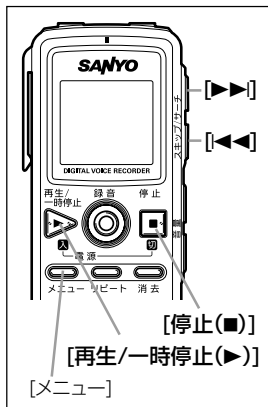
1 フォルダを選ぶ

[メニュー]ボタンを押し、10秒以内に[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押してフォルダを選び、[停止(■)]ボタンを押します。

2 [スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押し、希望のファイルを選ぶ

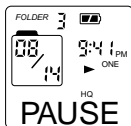
3 [再生/一時停止(▶)]ボタンを押し、再生を開始する

SANYO
DIGITAL VOICE RECORDER
[▶▶|]
[|◀◀]
[停止(■)]
[再生/一時停止(▶)]
[メニュー]

[表示例]

再生を一時停止する

[再生/一時停止(▶)]ボタンを押す

「PAUSE」を表示します。

再度[再生/一時停止(▶)]ボタンを押すと、再生を再開します。

再生を停止する

[停止(■)]ボタンを押す

タイムスタンプ表示

● 停止時→選択中ファイルの録音した時刻を表示。

● 再生時→録音した日付を5秒間表示した後、録音した時刻を表示。

再生モードを選ぶ

ONE:選択したファイル1つを再生します。

ALL:選択したフォルダ内のすべてのファイルを続けて再生します。

初期設定は「ONE」です。

再生モードの選択方法→28〜29、31ページ

ファイル戻し、送りする(スキップ)

再生または停止中に、[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押す([|◀◀]:ファイル戻し、[▶▶|]:ファイル送り)

連続でファイル戻し、送りをするには、停止中に[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押し続けます。

停止中にファイルを選択した場合は、[再生/一時停止(▶)]ボタンを押すと再生を開始します。

● 再生中に[|◀◀]ボタンを押すと、再生中のファイルの頭に戻り再生します。続けて2度押すと、前のファイルに移動します。

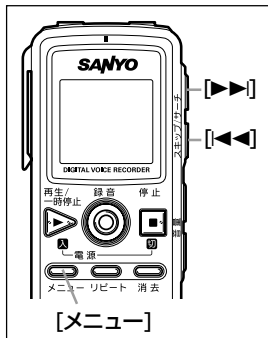
● 再生モード(31ページ)が「ALL」の場合、停止時にファイルを選択しても、再生はファイル1から始まります。

● 停止時に[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押し続けると、「ALL」が表示されます(次のページ参照)。

再生を早戻し、早送りする(サーチ)

再生中に、[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押し続ける

([|◀◀]:早戻し、[▶▶|]:早送り)

ボタンから指をはなすと、通常の再生に戻ります。

ご注意

早戻し、早送りは再生中のファイル内で使える機能です。ファイルを越えて早戻し、早送りをすることはできません。早送り時にファイルの最後まできた時は、ファイル送り機能(前のページ)に切り換わります。

5秒前に戻って再生する

再生中に、[メニュー]ボタンを押す

再生中のファイル内で5秒前に戻って再生を再開します。

ご注意

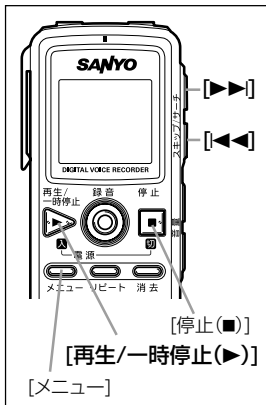
- ファイルを越えて戻すことはできません。
- 再生中に、[メニュー]ボタンを2秒以上押した場合は、キーロックの設定(14ページ)となります。

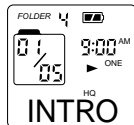
イントロ再生

選択中フォルダのすべてのファイルの最初から3秒間を順に再生します。

1　フォルダを選択する

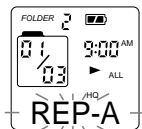
[メニュー]ボタンを押し、10秒以内に[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押してフォルダを選び、[停止(■)]ボタンを押します。

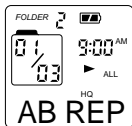
2　「ALL」が表示されるまで、[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|] ボタンを押す

3　[再生/一時停止(▶)]ボタンを押す

「INTRO」を表示して、イントロ再生を開始します。

[停止(■)]ボタンを押すと、イントロ再生を停止します。

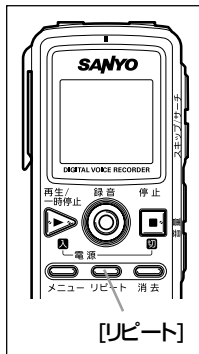
A-Bリピート再生

ファイル中の特定の区間を繰り返し再生します。

1 **再生中に、A-Bリピート再生の開始地点(A)で[リピート]ボタンを押す**

2 **終了地点(B)で[リピート]ボタンをもう1度押す**

設定した区間(A地点－B地点)を繰り返し再生します。

A-Bリピート再生中に、[リピート]ボタンを押すと、A-Bリピートを解除して通常の再生に戻ります。

ご注意

- A-Bリピート再生中に[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを操作すると、設定が解除されます。
- A地点とB地点は、2秒以上の間隔が必要です。

消去する

ご注意

消去する前に、電池の残量が充分あることを確認してください。

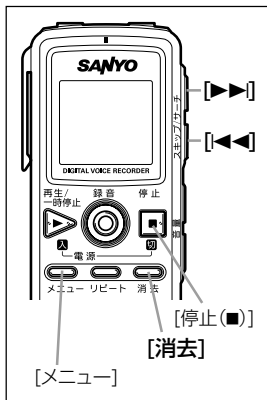
ファイルを消去する

1 フォルダを選ぶ

[メニュー]ボタンを押し、10秒以内に[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押してフォルダを選び、[停止(■)]ボタンを押します。

2 [スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押し、消去したいファイルを選ぶ

3 [消去]ボタンを押す

「DELETE」表示が点滅します。

4 点滅している間(5秒間)に[消去]ボタンを2秒以上押す

選択したファイルが消去されます。消去されたファイル以降のそれぞれのファイル番号は繰り上がります。

消去を途中で中止するには、[停止(■)]ボタンを押します。

フォルダ内のすべてのファイルを消去する

1　消去するフォルダを選ぶ

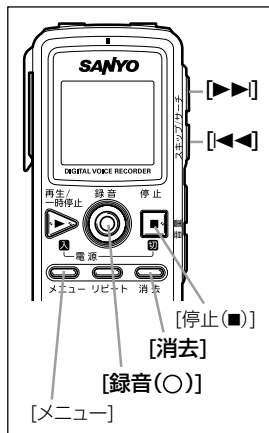
[メニュー]ボタンを押し、10秒以内に[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押してフォルダを選び、[停止(■)]ボタンを押します。

2　[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

3　[消去]ボタンを押す

「DELETE」表示が点滅します。

4　点滅している間(5秒間)に[消去]ボタンを2秒以上押す

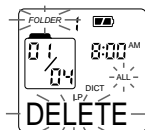
選択したフォルダ内のすべてのファイルが消去されます。

すべてのファイルを消去する

メモリの内容がすべて消去されます。消去する前に必要なデータは必ずバックアップしておいてください(33ページ)。

1 [消去]ボタンを押す

「DELETE」表示が点滅します。

2 点滅している間(5秒間)に[録音(○)]ボタンを3秒以上押す

「FOLDER」、「ALL」、「DELETE」表示が点滅します。

3 点滅している間(5秒間)に[消去]ボタンを2秒以上押す

すべてのファイルが消去されます。

消去を途中で中止するには、[停止(■)]ボタンを押します。

各種メニューの設定

1 停止状態で[メニュー]ボタンを押す

メニュー画面を表示します。

2 再度[メニュー]ボタンを押し、変更したいメニュー画面を選ぶ

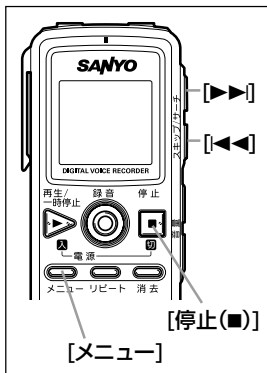
ボタンを押すたびに、次のページのようにメニュー画面が切り換わります。

3 設定を変更するには[スキップ/サーチ]の[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押し、希望の項目を選ぶ

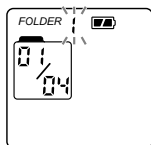
詳しくは次のページからの「メニュー設定の一覧」をご覧ください。

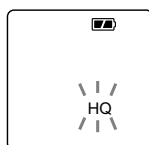
続いて他のメニューの設定を変更する場合は、2～3の操作を繰り返します。

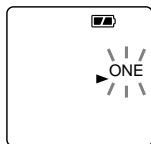
4 [停止(■)]ボタンを押す

停止状態に戻ります。

ご注意

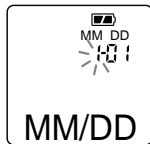
- 設定の途中で10秒以上何も操作をしないと、もとの画面に戻ります。途中までの設定は有効になります。
- メニュー設定中は[録音(○)]や[再生/一時停止(▶)]ボタンを押しても、録音や再生は開始されません。

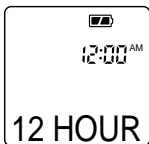
メニュー設定の一覧

1)フォルダ選択

2)録音感度

3)録音モード

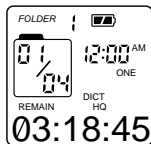
4)VAS:音声起動録音

5)再生モード

6)ビープ音

7)年(西暦)

8) 月

9) 日

10)12/24時間表示

11) 時

12) 分

(初期設定値を表示しています)

(停止画面)

1) FOLDER:フォルダ選択

18ページ「フォルダを選ぶ」をご覧ください。

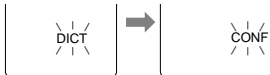
2) DICT/CONF:録音感度設定

DICT → CONF

DICT(対話):

音源が近い場合の録音に向いています。音源の方へ本機を向けてください。

CONF(会議):

小会議での録音に向いています。録音時の環境によって音声を拾える範囲は変わります。

3) HQ/LP:録音モード設定

HQ → LP

HQ(ハイクオリティ)モード:

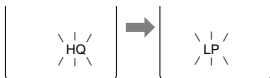
高音質で録音できます。

LP(ロング)モード:

音質は多少落ちますが、長時間録音ができます。

録音モードの設定・変更は、新しいファイルに録音するときに有効になります。

4) VAS:音声起動録音設定

OFF VAS → ON VAS

VAS OFF:

手動で録音の開始、停止をおこないます。

VAS ON:

録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると録音が自動的に一時停止します。「VAS」を表示します。

録音中に[音量]の[+]または[−]ボタンを押し、音声感知レベルの調節(SEN 01〜SEN 10)ができます。数値が高い方が小さな音でも起動しやすくなりますが、雑音の多いところでは、逆に録音が止まらない場合があります。ご使用の目的に合わせてレベルを調節してください。

04 ● DICT HQ VAS SEN 08

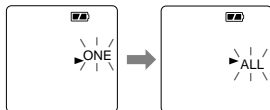
小さな音声のときは、この機能が働かない場合があります。大切な録音をする場合は、VASを「OFF」にしてください。

5) ONE/ALL:再生モード設定

ONE:

選択したファイル1つを再生します。

ALL:

選択したフォルダ内のすべてのファイルを続けて再生します。

6) BEEPON/BEEPOFF:ビープ音設定

BEEPON:

ボタンを押すと、「ピッ」というビープ音が鳴ります。

BEEPOFF:

ビープ音は鳴りません。

7) YEAR:「年(西暦)」設定
8) MM/DD:「月」設定
9) MM/DD:「日」設定
10) 12 HOUR/24 HOUR:12/24時間表示設定
11) TIME:「時」設定
12) TIME:「分」設定

7)〜12)の各設定は、15ページ「日時を設定する」をご覧ください。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

動作しない

原 因	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れである。
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。一度乾電池を抜いてから、正しく入れ直してください。または新しいアルカリ乾電池に換えてください。(11ページ)

ボタンを押しても反応しない

原 因	キーロック機能がオンになっている。
解決方法	キーロック機能をオフにしてください。(14ページ)

音が聞こえない

原 因	音量が小さい。
解決方法	音量を調節してください。(16ページ)

スピーカーから音が聞こえない

原 因	ヘッドホンが接続されている。
解決方法	ヘッドホンを抜いてください。

録音できない

原 因	(マイク)端子に誤ってヘッドホンが接続されている。
解決方法	ヘッドホンを抜いてください。

動作や画面の表示が通常でない

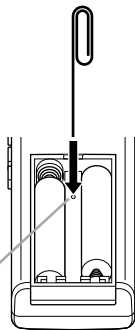
原 因	本機をリセットする必要がある。
解決方法	次のページをご覧ください。

リセットする

動作や画面の表示が通常でない場合は、本機をリセットしてください。

1　電池カバーを開ける

2　乾電池は入れたままで、先の細い棒状のもの(例えば針金など)を使い、[RESET]ボタンを5秒押す

本機がリセットされます。
※保存されたデータは消えません。

データのバックアップ(外部機器への録音)

1 市販のオーディオケーブル(モノラルミニプラグ/抵抗入り)で本機の 🎧(ヘッドホン)端子と録音する機器(カセットレコーダーなど)の音声入力またはマイク入力端子を接続します。
2 録音する機器の録音を開始します。
3 本機でバックアップ(録音)したいファイルを選び、再生を開始します。
録音の前に試し録音をして、本機の音量を調節しておいてください。

お手入れ

本機の汚れは柔らかい布でふいてください。

ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

主な仕様

内蔵メモリ	32MB
録音時間	約4時間(HQ時) 約10時間45分(LP時)
録再周波数特性	300～3,300Hz(HQ時) 300～3,200Hz(LP時)
入出力端子	(ヘッドホン)3.5φミニ、インピーダンス8Ω以上 (外部マイク)3.5φミニ、プラグインパワー対応、インピーダンス2kΩ以上
スピーカー	28mmφ
動作温度	+5℃～+35℃
定格出力	120mW(JEITA/DC)
電源	単4形アルカリ乾電池×2本
電池持続時間(JEITA)	アルカリ乾電池 約13時間30分(連続録音時間)LP時 約9時間30分(連続再生時間)スピーカー再生、LP時 約10時間30分(連続再生時間)ヘッドホン再生、LP時 連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。 また、アルカリ電池以外の乾電池の動作保証はいたしません。
最大外形寸法	幅42×高さ111×奥行き20mm
質量	約72g(電池含む)
付属品	外部マイク（1)、インナーイヤー型ヘッドホン（1)、単4形アルカリ乾電池（2)、基本操作ガイド（1)、本書(保証書付)（1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

本書の32ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

デジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居や贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口: 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口: 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談） 三洋電機(株) お客さまセンター

相談受付時間 9:00～18:30

北海道地区	札　幌	☎ (011)290-1522
東北地区	仙　台	☎ (022)714-6137
関東地区	東　京	☎ (03)3815-1111
中部·北陸地区	名古屋	☎ (052)533-5245
近畿·四国地区	大　阪	☎ (06)6994-9570
中国地区	広　島	☎ (082)297-6067
九州·沖縄地区	福　岡	☎ (092)461-8022

郵便·FAXでご相談される場合は

三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX ☎ (06)6994-9510

修理相談窓口（修理サービスについてのご相談）

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間　月曜日～金曜日　9:00～18:30
土曜･日曜･祝日　9:00～17:30

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東コールセンター	**東京**	☎ (03)5302-3401
西コールセンター	**大阪**	☎ (06)4250-8400

関東･首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

北海道地区	札　幌	☎ (011)833-7888
東北地区	仙　台	☎ (022)382-2213
長野地区	長　野	☎ (0263)26-1772
新潟地区	新　潟	☎ (025)285-2451
福島地区	福　島	☎ (024)945-6811

西コールセンターへの転送電話番号

北陸地区	金　沢	☎ (076)237-6650
東海地区	名古屋	☎ (052)979-3456
中国地区	広　島	☎ (082)293-9333
四国地区	高　松	☎ (087)844-8321
九州地区	福　岡	☎ (092)922-9311

沖縄地区　沖　縄　☎ (098)944-5018

受付時間　月曜日～土曜日(日曜､祝日および当社の休日を除く)
9:00～12:00､13:00～17:30

「持込修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。

受付時間　月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）　9:00～17:30

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、
ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

北　海　道　地　区			
札　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
苫小牧	(0144)57-8707	〒059-1364	苫小牧市沼ノ端230-1034
旭　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
北　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

東　北　地　区

仙　台	(022)384-0444	〒981-1225	宮城県名取市飯野坂3-4-8
青　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺29-5
八　戸	(0178)28-9225	〒039-1121	青森県八戸市卸センター1-6-7
盛　岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-12-1
水　沢	(0197)23-6621	〒023-0003	岩手県水沢市佐倉河字羽黒田45
山　形	(023)641-1769	〒990-2432	山形県山形市荒楯町1-21-30
酒　田	(0234)23-3817	〒998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎6-7-16
秋　田	(018)862-6551	〒010-0802	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡　山	(024)945-6793	〒963-0111	福島県郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関　東・甲　信　越　地　区

さいたま	(048)664-2319	〒331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町1-30
坂　戸	(049)284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
栃　木	(028)653-2811	〒321-0106	栃木県宇都宮市上横田町1302-12
茨　城	(0298)64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　戸	(029)251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
群　馬	(027)362-1151	〒370-0001	群馬県高崎市中尾町池の内441
西関東	(0276)22-7702	〒373-0015	群馬県太田市東新町72-2
新　潟	(025)285-2431	〒950-0973	新潟県新潟市上近江3-5-18
長　岡	(0258)24-0705	〒940-0029	新潟県長岡市東蔵王2-3-46
上　越	(025)543-3535	〒942-0074	新潟県上越市石橋2-2-9
城　東	(03)3607-3191	〒125-0051	東京都葛飾区新宿4-10-15
城　北	(03)3958-1261	〒173-0021	東京都板橋区弥生町72-5
城　西	(03)3376-3361	〒151-0073	東京都渋谷区笹塚3-1-13
武蔵野	(042)364-7721	〒183-0045	東京都府中市美好町2-3-1
戸　塚	(045)827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相模原	(042)742-2272	〒228-0805	神奈川県相模原市豊町17-11
平　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮3-20-63
千　葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉県千葉市中央区問屋町5-20
鎌ケ谷	(047)441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
山　梨	(055)226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名古屋	(052)979-3455	〒461-0025	愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1F
名古屋西	(052)485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岡　崎	(0564)23-3418	〒444-0860	愛知県岡崎市明大寺本町1-20
岐　阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静　岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡県静岡市長沼885
沼　津	(055)935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜　松	(053)461-8685	〒435-0016	静岡県浜松市和田町795-2
松　本	(0263)26-1107	〒390-0835	長野県松本市高宮東1-35
長　野	(026)299-9501	〒388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2
金　沢	(076)292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富　山	(076)422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福　井	(0776)53-7134	〒912-0834	福井県福井市丸山1-1002
三　重	(059)236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2

近　畿　地　区

大　阪	(06)6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	大阪府東大阪市今米2-3-29
阪　和	(072)221-8571	〒590-0959	大阪府堺市大町西3-1-16
京　都	(075)672-0877	〒601-8102	京都府京都市南区上鳥羽菅田町41
三　丹	(0773)27-3458	〒620-0856	京都府福知山市土師宮町1-66
奈　良	(0744)22-7888	〒634-0837	奈良県橿原市曲川町7-1-31
滋　賀	(077)545-4221	〒520-2134	滋賀県大津市瀬田1-1-5
和歌山	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
田　辺	(0739)22-7520	〒646-0051	和歌山県田辺市稲成町南江原318
神　戸	(078)641-1251	〒653-0038	兵庫県神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
阪　神	(06)6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫　路	(0792)96-2141	〒670-0981	兵庫県姫路市西庄字八町108
淡　路	(0799)22-2702	〒656-0101	兵庫県洲本市納字横竹308-1

中　国　地　区			
広　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町3-17-5
福　山	(084)954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
津　山	(0868)22-6133	〒708-0002	岡山県津山市上河原239-10
鳥　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
浜　田	(0855)22-7883	〒697-0023	島根県浜田市長沢町3049
松　江	(0852)23-1183	〒690-0017	島根県松江市西津田4-1-14
山　口	(083)973-3391	〒754-0024	山口県吉敷郡小郡町若草町2-6

四　国　地　区			
愛　媛	(089)971-3342	〒791-8036	愛媛県松山市高岡町148-1
宇和島	(0895)27-1818	〒798-0077	愛媛県宇和島市保田甲934-3
香　川	(087)843-1840	〒761-0104	香川県高松市高松町2175-10
高　知	(088)860-0229	〒781-5106	高知県高知市介良乙1044
徳　島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2

九　州　地　区			
福　岡	(092)928-3414	〒818-8534	福岡県筑紫野市紫6-1-1
北九州	(093)521-5286	〒802-0023	福岡県北九州市小倉北区下富野2-10-28
中九州	(0942)37-3934	〒830-0038	福岡県久留米市西町105-18
長　崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎県長崎市本河内3-21-43
佐世保	(0956)31-7635	〒857-1162	長崎県佐世保市卸本町17-1
熊　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本県熊本市南高江3-2-88
八　代	(0965)35-3483	〒866-0871	熊本県八代市田中東町12-7
大　分	(097)543-3454	〒870-0822	大分県大分市大道町3-4-32
宮　崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎県宮崎市花ケ島町観音免883
鹿児島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区			
沖　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部

住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

(011205G)

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」(35ページ)をご覧ください。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

三洋電機株式会社
パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー　国内販売担当
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号
電話　大東(072)870-4186(直通)

ボイスレコーダーユーザーサポートホームページアドレス
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html

809ICRB3402LF